



2019年7月

パテック フィリップ ジュネーブ

パテック フィリップ・ウォッチアート・グランド・エグジビション (シンガポール2019年)

シンガポールと東南アジアは、非常に重要なパテック フィリップの市場である。この地域では、ジュネーブのマニュファクチュールによって培われてきたクラフトマンシップと工芸技術が高く評価されている。これらの愛好家のために、パテック フィリップは2019年9月28日から10月13日まで、過去最大規模の第5回ウォッチアート・グランド・エグジビションを開催する。いうまでもなく、ウォッチアート・グランド・エグジビション (シンガポール2019年) では、ジュネーブのパテック フィリップ・ミュージアム所蔵の多数の歴史的タイムピースに加え、シンガポールとその近隣諸国に捧げられた特別展示も行われる。

ドバイ (2012年)、ミュンヘン (2013年)、ロンドン (2015年)、ニューヨーク (2017年) に続き、パテック フィリップは今年、当社の時計製作技術と創作タイムピースを展示するウォッチアート・グランド・エグジビションの開催地としてシンガポールを選んだ。広さ1,800㎡におよぶ10のテーマ・ルームでは、高級時計製作芸術の愛好家と一般公衆大衆は、ジュネーブ・ローズ通りの歴史的なサロン、プラン・レ・ワット本社工房、パテック フィリップ・ミュージアムを実際に訪れているかのように、パテック フィリップの世界に浸ることができる。それは最後の独立した家族経営の時計マニュファクチュールの舞台裏を発見できるユニークな機会である。この展示会と時を同じくして、数点の限定製作タイムピースが発表される。またこの地域の文化的・芸術的伝統からインスピレーションを得た、希少なハンドクラフト・タイムピースの豊かなコレクションも展示される。

シンガポールと東南アジア近隣諸国へのオマージュ

シンガポール200年を記念し、パテック フィリップは特別に選定された展示会場において、東南アジアの都市国家とその近隣諸国に敬意を表す。歴史、文化、芸術、およびパテック フィリップが深い関わりを持つこの地域の自然環境を垣間見せるため、マニュファクチュールは、これまでにない規模の選ばれたタイムピースを、一堂に集めて紹介するという、おそらく最初で唯一の機会を提供する。それは展示作品が、ミュージアムやプライベート・コレクターから特別に貸与されたタイムピースを含んでいるからである。七宝細密画により広東港を描いたジュネーブ製作の懐中時計が、極東とヨーロッパ間の貿易の中心地としてのシンガポールの役割を印象深く立証している。これは1830年頃、中国市場により発注されたものである (S-112)。微細な銀箔を埋め込んだクロワゾネ七宝で装飾されたパテック フィリップ・ドーム・テーブルクロック《タイの装飾》(20074Mモデル) は、建築装飾や伝統的な織物に体现された、これらの国々の優れた感性へのオマージュである。1810年頃、中国市場向けにジュネーブで製作された桃の形をしたペアのペンダント・ウォッチ (S-303A-B) は、この地域の動植物のユニークさを際立たせている。パテック フィリップ・ドーム・テーブルクロック《トロピカル・アイランド》(20087Mモデル) のクロワゾネ七宝による装飾は、海底世界の驚異を目の当たりにさせる。展示品中の2点のパテック フィリップ懐中時計 (P-1457) は、シャム (現在のタイ) 国王ラマ5世が所有していた。これらは地域の文化的な独自性を強調している。シンガポールの独立50周年を記念して2015年に創作されたパテック フィリップ・ドーム・テーブルクロック (1677Mモデル) には、将来性溢れる東南アジアの伝説的なダイナミズムが体现されている。著名な散歩道がその題材となっている。



パテック フィリップ・ミュージアム所蔵の他に類を見ないタイムピース

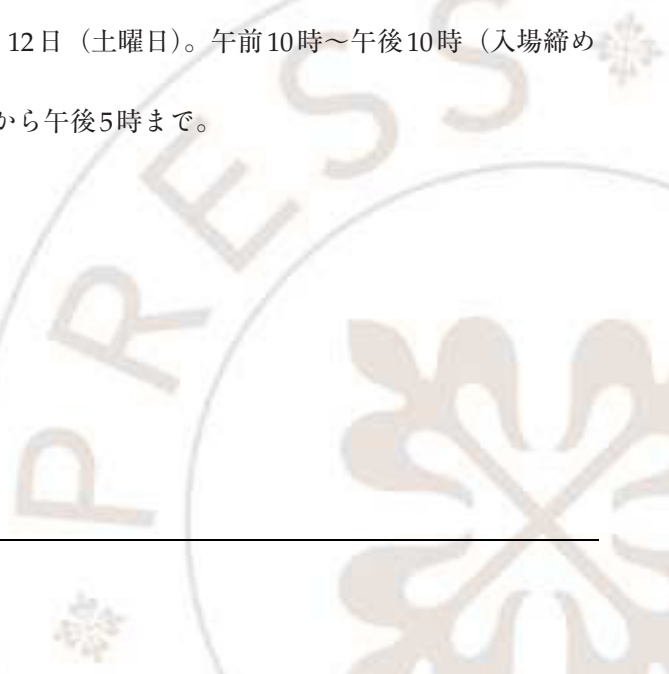
2001年に開館したジュネーブのパテック フィリップ・ミュージアムは今日、世界で最も優れた時計博物館のひとつと見なされている。シンガポールのウォッチアート・グラウンド・エグジビションでは、その希少な所蔵作品の一部を賞賛することができる。これほど多数のタイムピースが、海外で展示されるためにジュネーブから搬出されたのは、これが初めてである。ジュネーブのパテック フィリップ・ミュージアムと同じく、ミュージアム・ルームは2つのセクションに分かれている。第1のセクションはオールド・コレクションであり、1548年にニュールンベルクで製作されたドラム型時計 (S-892/ドイツ)、七宝細密画で豪華に装飾された懐中時計、ミュージカル・オートマトン (自動人形)、ヨーロッパの最も天分溢れる時計師たちの創作した技術的なタイムピースなどにより、16世紀中頃に始まる携帯できる時計の歴史を跡づける。第2のセクションは、1839年の創業以来今日に至る、パテック フィリップの輝かしいタイムピースのハイライトを跡づける。アントワース・ノルベール・ド・パテックが30歳の誕生日に購入した懐中時計 (P-1)、スイス最初の腕時計 (P-49/1868)、文書に残る最初の永久カレンダー搭載腕時計 (P-72/1925)、および25年以上世界で最も複雑な機械式携帯時計の地位を固持したキャリバー 89、スターキャリバー 2000 (21の複雑機能) など、最も著名な超複雑タイムピースのいくつか展示される。

入場無料の公開展示会

ウォッチアート・グラウンド・エグジビション (シンガポール2019年) は、シンガポールの中心部にあるプレステージ溢れるマリーナベイ・サンズ・シアター (Marina Bay Sands Theater) で開催される入場無料の公開展示会である。入場するためには、見学者は前もって無料のチケットを入手する必要がある (www.patek.comの予約プラットフォームにアクセスする)。この機会に、パテック フィリップは、展示作品のすべてを解説した詳細なカタログを刊行する。希望により、英語または北京語のナレーション付オーディオガイドが利用可能である。金曜日と土曜日は、午後10時まで開催時間が延長される。子供向けの活動が提供されるファミリーデーが、日曜日 (2回) に予定されている。

開催時間

- 日曜日～木曜日： 午前10時～午後7時 (入場締め切りは午後6時)。但し10月13日は午後5時に終了し、入場締め切りは午後4時。
- イブニングオープン：10月4日、11日 (金曜日) と10月5日、12日 (土曜日)。午前10時～午後10時 (入場締め切りは午後9時)。
- ファミリーデー： 10月6日、13日 (日曜日) の午前10時から午後5時まで。





《報道資料》 ページ 3

《本資料に関するお問い合わせ先》

PP Japan 株式会社

パテック フィリップ ジャパン

A D & P R ディレクター

大塚和泉

電 話：03-5209-8018 (直通)

F A X：03-3256-7558

izumi@ppjapan.com

《ご掲載いただく場合の読者お問い合わせ先》

パテック フィリップ ジャパン・インフォメーションセンター

電 話：03-3255-8109

パテック フィリップ ホームページ：<http://www.patek.com>





10 のテーマ・ルーム

映画上映ルーム

パテック フィリップの歴史を概観した映画がここで上映される。

現行コレクション・ルーム

パテック フィリップの現行コレクションを展示する。現行コレクション・ルームの内装デザインは、ジュネーブ・ローヌ通りのパテック フィリップ・サロンに準拠している。

ナポレオン・ルーム

見学者は、ジュネーブ・ローヌ通りの著名なパテック フィリップ・サロンの店内にいるかのように錯覚し、レマン湖の風景を再現した驚異的なライブ・ショーに魅了されることだろう。ナポレオン・ルームには、特に東南アジア市場向けに創作された限定製作タイムピースも展示される。

ミュージアム・ルーム

ジュネーブのパテック フィリップ・ミュージアムと同じく、ミュージアム・ルームは2つのセクションに分かれている。第1のセクションはオールド・コレクション、第2のセクションは、パテック フィリップの歴史的コレクションを展示する。

希少なハンドクラフト・ルーム

職人たちが、腕時計やドーム・テーブルクロックに用いられる七宝などの高度な装飾技術を実演する。世代を超えて伝えられた希少な工芸技術によるタイムピースが展示されたこのルームでは、パテック フィリップの希少なハンドクラフトへのコミットメントを理解することができるだろう。

ウォッチメーカー・ルーム

このルームではパテック フィリップのマスター・ウォッチメーカーたちが、機械式タイムピースの内部の機構を探検させてくれる。

グランド・コンプリケーション・ルーム

パテック フィリップの最も複雑で技術革新に溢れたタイムピースを同時に一個所で見ることのできる希少な機会を提供する。グランド・コンプリケーションは、マニファクチュール パテック フィリップの名声に多大な貢献をしている。

ムーブメント・ルーム

基本的なキャリバーから世界で最も複雑なタイムピースのいくつかのために創作された、グランド・コンプリケーションまで、パテック フィリップの多岐にわたるタイプのムーブメントを展示する特設ルームである。

インタラクティブ・ルーム

インタラクティブ・ルームは、見学者をマニファクチュール パテック フィリップの世界と、ムーブメントの仕組みを深く理解するためのエキサイティングな旅にお連れする。

シンガポールと東南アジア・ルーム

この特別ルームは、シンガポール 200 年と、豊かな歴史、文化、芸術、自然に恵まれたシンガポールと東南アジア全域の偉大な遺産へのオマージュである。

